

# Cisco ファイアウォール サービス モジュールでのアプリケーション インспекションの脆弱性

High

アドバイザリーID : cisco-sa-20071219-fwsm

初公開日 : 2007-12-19 16:00

バージョン 1.2 : Final

CVSSスコア : [7.8](#)

回避策 : [Yes](#)

Cisco バグ ID :

[CVE-](#)

[2007-](#)

[5584](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

Cisco Catalyst 6500 スイッチおよび Cisco 7600 シリーズ ルータ用の高速の統合ファイアウォール モジュールである Cisco Firewall Services Module ( FWSM; ファイアウォール サービス モジュール ) には、FWSM のリロードにつながる可能性がある脆弱性が含まれています。該当する FWSM システム ソフトウェアのバージョンは、3.2(3) だけです。

この問題が意図的に悪用された例は報告されていません。ただし、この脆弱性を偶然に誘発したと思われるデータ ストリームは観察されています。

この脆弱性には、Common Vulnerabilities and Exposures ( CVE ) 識別子 CVE-2007-5584 が割り当てられています。

シスコでは、この脆弱性に対処するソフトウェア アップデートをリリースする予定です。

この脆弱性に対しては回避策があります。

このアドバイザリーは [219-fwsm](#) で掲示されます。

## 該当製品

### 修正済みソフトウェア

FWSM は、システム ソフトウェア バージョン 3.2(3) が稼働している場合、この脆弱性に該当します。

FWSM が脆弱かどうかを判定するには、Cisco IOS または Cisco CatOS から Command-Line Interface ( CLI; コマンドライン インターフェイス ) コマンドの **show module** を発行して、システムにインストールされているモジュールとサブモジュールを確認します。

次の例は、スロット 4 にファイアウォール サービス モジュール ( WS-SVC-FWM-1 ) が搭載されたシステムを示しています。

```
switch#show module
Mod Ports Card Type Model Serial No.
-----
1 48 SFM-capable 48 port 10/100/1000mb RJ45 WS-X6548-GE-TX SAxxxxxxxxxx
4 6 Firewall Module WS-SVC-FWM-1 SAxxxxxxxxxx
5 2 Supervisor Engine 720 (Active) WS-SUP720-BASE SAxxxxxxxxxx
6 2 Supervisor Engine 720 (Hot) WS-SUP720-BASE SAxxxxxxxxxx
```

正しいスロットの場所を確認した後、**show module <slot number>** コマンドを発行して、実行されているソフトウェアのバージョンを確認します。

```
switch#show module 4
Mod Ports Card Type Model Serial No.
-----
4 6 Firewall Module WS-SVC-FWM-1 SAxxxxxxxxxx

Mod MAC addresses Hw Fw Sw Status
-----
4 0003.e4xx.xxxx to 0003.e4xx.xxxx 3.0 7.2(1) 3.2(3) Ok
```

上の例では、FWSM がバージョン 3.2(3) を実行していることが、「Sw」列に示されています。

注：Cisco IOS の最近のバージョンは **show module** コマンドからの出力で各モジュールのソフトウェアバージョンを示します; 従って、**show module <slot number>** コマンドを実行することは必要ではありません。

または、次の例のように、**show version** コマンドを使用して FWSM から情報を直接取得することもできます。

```
FWSM#show version
FWSM Firewall Version 3.2(3)
```

Cisco Adaptive Security Device Manager ( ASDM ) を使用してデバイスを管理している場合は、ログイン ウィンドウの表、または ASDM ウィンドウの左上にソフトウェアのバージョンが表示されます。バージョンの表記は次の例のようになります。

```
FWSM Version: 3.2(3)
```

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

- FWSM システム ソフトウェア バージョン 3.2(2) 以前。
- FWSM システム ソフトウェア バージョン 3.1(x)。
- FWSM システム ソフトウェア バージョン 1.x(y) および 2.x(y)。
- Cisco PIX 500 シリーズ セキュリティ アプライアンス ( PIX )。
- Cisco 5500 シリーズ 適応型 セキュリティ アプライアンス ( ASA )。

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

## 改訂履歴

リビジョン 1.2	2008年1月3日	「ソフトウェア バージョンと修正」セクションのダウンロードが使用可能になる日付を更新。
リビジョン 1.1	2007年12月19日	CVSS の表の現状スコアのセクションを更新。
リビジョン 1.0	2007年12月19日	初回公開リリース

## 利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。